

草地現地研修会に出席して

兼子 達夫

北海道草地現地研修会（第四回）が、昨年九月八日、九日の二日間、日高の様似町幌泉町及び十勝の広尾町において盛大に実施された。

第一日目は、(一)草地の維持管理と利用、(二)草地の造成技術につき高野定郎氏および三股正年氏より講義があり、ロックハート氏よりニュージーランドの草地利用に関するスライド解説があった。ここでは二日目の現地研修の概況をレポートいたします。

一 様似町営牧野

日高地方は背後に日高連峰を背負い前方に太平洋を控えて、耕地面積狭く、かなり傾斜の急な山や丘陵で占められている。

様似町もその典型的な一例で、従って将来畜産を振興するにはこの傾斜地を利用し、町有牧野を造成することが最善であると町議一決し、道改良課の指導のもとに昭和三十六年五鈴の草地造成事業を開始した。

場所はアポイ岳山麓（登山口附近）で、標高二〇三〇〇呎あり、風光明媚なエリモ道立自然公園を眼下に見下ろし、傾斜度は約三〇度のところもあり、土質は粘質がかっていて瘠薄である。

(1) 造成のあらまし

草地造成は次の如く大機具を使用し、比

第1表 草地造成面積と事業費

年	草地造成面積	単価	事業費	内訳	
				補助金	町費
昭和36	5	11,566	578,370	260,200	318,170
37	5	8,883	444,157	221,000	223,155
38	20	14,497	2,899,532	1,448,000	1,451,532

較的平坦な場所を選び、耕起による完全な方法をとった。
伐採（立木除去）
柴木刈払（焼却）
— 抜根（レーキド）
— ザ）— 起土（トラクタープラオ）
— 土壌改良（炭カル）
— 整地（トラクターデスクハロー）
— 施肥・播種
— 覆土（柴ハロー）
これに要した費用は第一表の通りで、また

第2表 土壌改良、施肥及び牛草種子の内訳

区分	昭和36年	37	38
	200 kg	200 kg	400 kg
炭カ	30	40	17
地肥料	15	17	17
熔燐			
オーチャード	1.2	1.0	1.0
チモシ	—	0.4	0.7
メドウフェスク	0.6	0.7	0.7
白クロバ	0.2	0.3	0.3
ラデノクロバ	0.2	0.2	0.2
(計)	(2.2)	(2.6)	(2.9)

資材の内訳は第二表の通りである。

(2) 放牧利用の概況

現地へ一行が到着した時、折悪く小雨がパラついてしたが、山合いの造成草地にはホルスタインが三々、五々と群れ、その牛群の肉付き毛並みの良いのを見ただけで、草地の優れていることが察せられた。

草の種類はラデノクロバが主体で約半分を占め、その他にオーチャード、チモシ、メドウフェスクが繁茂している。牧草の色も良く、マメ科とイネ科のバランス、各草種の伸び具合なども良好で草地の維持管理が適切に行なわれていることが推察された。

現在集約草地三〇鈴、附帯草地（急傾斜地、沢）二〇鈴を十二地区に分けており、放牧頭数は今年五月九〇頭、六月一〇〇頭、七月中半より悪天候のため草伸び悪く五〇頭ずつに減らしているが、明年は毎月一〇〇頭収容を実現したいそうである。



(1) 様似町有牧野、草の伸び混播具合も良い

放牧家畜はホルスタインの育成牛が主体で、五月十五日〜十月十五日まで一五〇日を期間としている。秋放牧終了の頃には自分の牛が判らなくなる位に良く発育し、農家の評判は上々である。今年から短角牛（肉牛）を試験的に少数頭放している。

草地の利用上最も注意をはらっているのは過放牧で、放牧開始の頃、夏以降、または悪天候のため草の繁茂が悪い場合などは、嚴重に放牧を制限し、牧草が痛まないよう見張りをしている。

また各牧区を区切る仕切りが重要で輪換放牧を徹底するため、バラ線を使用し、各牧区間は三段、周囲は四段に張りめぐらしている。熊が出てきて乳牛と一緒に遊んでいたらしいという報告を一度受けたことがあるが、未だ被害は受けていない。

飲料水は不便で、ただ一カ所しか水飲場がないので、十二牧区どこからでも附帯草地を通してそこへ行けるように区劃している。給塩も水飲場の近くに備えている。

(3) 草地の維持管理

草地造成の翌年から草地肥料（草地二号）を一〇鈴当り一袋（三〇キロ）宛散布し、更に牧草種子〇・三キロ、マメ科イネ科混播を追播している。肥料種子ともに手まきで行ない、春秋に農家の無料奉仕で行なっている。牧道を作る際にも農家の人達は積極的に協力してくれて、そのお陰で牧道造成費を土壌改良資材にふり向けたそうである。

なお牧野管理人として常時一名配置し、事故牛がないかどうか、その他一切の見廻りをして貰っている。放牧使用料は

一八ヶ月未満の未經産牛 一月 八〇〇円
 一八ヶ月以上の未經産牛 一月 一〇〇〇円
 成牛 一月 一三〇〇円

で、本年の使用料合計は約四〇万円になるが、一方経費は肥料代二五万円、労務費二〇万円、その他鉄線費などあって赤字を計上しなければならぬが、明年以降は使用料と維持費のバランスが大体とれそうである。

現在酪農家戸数九〇戸の中、四三戸の殆どは育成牛がこの町有牧野へきており、大変好評で、草が良ければ利用者は更に増加の見通しで、またこのような悪条件のところでも立派な草地ができるという見本が来場した酪農家へ良い刺激となり、今後の草作り、多数頭飼育への方向に大きな効果を上げていく——と幌泉町畜産係の方は自信に満ちた笑顔で説明された。

二 幌泉町有牧野

様似町から太平洋沿岸をバスに揺られて約二時間、途中軽種馬で有名な田中牧場を見学し、エリモ岬の近くに緑の小山が連なり短角牛（肉牛）が五〜六〇頭放牧されている。

ここが幌泉町有牧野の一部で、幌泉町では昭和三十年以来毎年約一〇分ずつ地区別に草地改良を行ない、昭和三十九年までに一三〇分の草地を造成しているそうである。草地造成の方法は様似町の場合と殆ど同様で、レーキドーザやトラクター等を使用し、一〇坪当一万円前後の事業費を要し、牧草及び肥料については凡そ次の通りであった。

牧草種子

オーチャード

一五キロ

ケンタッキー31フェスク 一〇
 白クローバー 〇・五
 赤クローバー 〇・五
 計 三・五

施肥（基肥）

草地肥料

四五キロ

燐

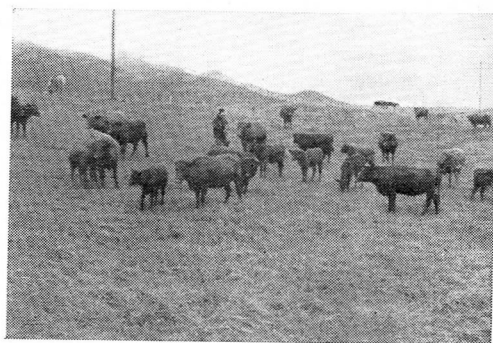
三〇

炭カル

五〇〇〜六〇〇

ケンタッキー31フェスク、白クローバーが混播に用いられているのは、この地帯の土壌が瘠薄で乾燥しやすく、絶えず潮風に吹かれているため、これらの悪条件に打勝つ強い草種でなければ生育できないからではないかと考えられる。草伸びは様似ほど旺盛でない。過繁草も殆ど見られない。寧ろ過放牧ぎみではなからうかと思われらくらいであるが、放牧されている家畜が短角牛のためかも知れない。

幌泉町有牧野の特色は短角牛の育成を主体としていることにある。短角牛は古く明治年間に飼育された経験があり、大正から昭和にかけて可成り大規模に自然放牧が行なわれたそうである。戦時中放牧の鉄線が撤収されたり、食糧不足で牧野を耕地化したりして中断されていたが、昭和二十五年漁業の不振対策の一環として再び熱心に短角牛の飼育がとりあげられ、道貨付牛、融資牛などの導入が行なわれた。従って生産者には飼育に手馴れた人が多く、牧野に対する関心が高く、また放牧中の管理等は実に徹底して力を入れ牛に目印をつけなくても各自の牛を見間違ふことがないそうである。写真(2)では明らかでないが、潮風に吹かれる広々とした丘陵で、サッソウと馬上にまたがり、漁師気質のネジリ鉢巻をして、



(2) 幌泉町有牧野、短角牛（肉牛）の育成が主体である。

短角牛を追っている風景は漁畜兼業の実に微笑ましい一コマを感じるであった。

短角牛の改良については新得種畜場や米国カーネーション牧場等から優秀な種牡牛を導入し、大型化を図り、「日高短角種」の名称のもとに改良と普及が行なわれている。短角牛は性質温和で粗食に耐え、集団性にとみ放牧に適しており、繁殖は自然交配にまかせているそうである。

現在改良牧野は五地区に分かれていて、各牧区には牧区長を定め、時々近所の人達と一緒に家畜の見廻りを行っている。放牧期間は五月十五日〜十一月三十日迄。放牧使用料は次の通りで、また幌泊町の家畜現存数は第三表の通りである。

牛馬一頭当り（期間）

牛 二才以上 一、二〇〇円
 当才 四六〇円
 馬 二才以上 一、〇〇〇円
 当才 三九〇円

第3表 幌泉町の家畜現存数

牛		馬				羊	豚	鶏
短角	ホルスタイン	中半血	重種	軽種	和種			
349	325	232	33	197	53	630	225	3,125

短角牛 二才以上四〇〇円
 当才 一八〇円
 草地改良跡地に入牧する料金は反当二〇〇円とする。

三 広尾町改良牧野
 幌泉町有牧野からエリモ岬を探索し、更に黄金道路を通って、広尾町より二ギ離れたところに広尾町畜産基地が建設されつつあった。昭和三十七年工事が開始されたばかりで、未だ雄音高い現状であるが、畜産（特に酪農）の多数頭飼育を目ざして、四〇〇分の町有地の中に約一億円の予算で昭和四十二年迄に膨大な畜産基地が造成されようとしている。畜産基地の目的は

- 1 草地の造成、草地経営の展示を行ない模範となること
 - 2 育成牛を主体とし、妊娠五〜六ヶ月にして農家へ返す
 - 3 夏季放牧、冬季舍飼（乾草草、サイレージ給与）を行ない年間飼育を原則とする
 - 4 家畜の質向上を期する（家畜管理所を設置）
- など道内では珍しい総合的な計画を執行中である。地形は平地山地半々に分れていて、草地改良も集約草地と簡易草地とに分れている。かくて前日来三〇〇名参加の研修会はこの盛會裡に閉会された。